



奥村 純一
(移住定住促進担当)

令和3年の4月から地域おこし協力隊としての活動をはじめた奥村です。

さて、皆野での1年間の活動生活を振り返ってみたところ、目的のひとつとして掲げていた「皆野町」の認知度のアップということは、自分の想像していた以上に成功したのではないかと思います。

私は社会人になって約30年、写真撮影の仕事に従事しています。その仕事仲間たちも、私の地域活動に興味を持ってくれたこと、応援してくれたことも大きく要因しております。

さまざまな媒体へ掲載する写真の撮影をするのが、私の仕事ですが、印刷物である雑誌やインターネット配信のwebマガジン、webサイトなどの編集

者、ライターたちは、ロケ(撮影)をするのに、東京から皆野に来てくれて、協力していただいた場所のクレジット(名前や連絡先)を掲載するなど、アピールにも一役買ってくれています。

また、地域での活動としましては、この1年でヒストリックカーのイベント「皆野サンデーミーティング」、「皆野サンデーラリー2021」、「皆野サンデーラリーSPRING」の3つのイベントを行いました。

これらも複数の雑誌、web媒体が取り上げてくださり、配信の閲覧数は約300万を超えました。皆野を中心にしたイベントを、それだけの多くの人が見てくれたのです。

1年の間に掲載された雑誌やwebニュースは約20件で、広告費用に換算すると簡単な予算では実現できません。

そうした出費なく、アピールできたのは、今までの付き合いを大事にしていたこと。人のつながりは、こういった仕事でも一番大事だと改めて感じると同時に、仕事仲間たちの協力に深く感謝しております。

また、こうしたイベントをやりたいと思っても、ひとりできることには限界があります。準備期間を含めて、何度も打ち合わせを行い、当日、来場していただいた方々に楽しんでもらい、また皆野へ来たいと満足してもらうには、一致団結したスタツプが必要になります。以前から付き合いのある同じ趣味を持つ仲間だけでなく、皆野町で

知り合った友達も、地元の活性化のためになればと、スタッフとして協力してくれたのです。東京の仲間と皆野のスタッフグループチャットでやり取りを行い、私が参加できないときも非常に助けてもらいました。僕ら趣味を楽しむ者だけのイベントではないというなよりの確証、証明であるともいえるでしょう。

また、イベント開催時だけでなく、多くの人が集まれるサロンを作ることも今後の目標として活動中です。

その一歩としまして、定休日となる日曜日に、140号線沿いの店先を貸していただけるといふ地元企業さんの協力で、朝カフェ、朝カレーといった飲食を提供する移動販売を行うため、現在準備中です。

こちらから製造から50年以上経ったクルマを使つての移動販売車でのカフェ計画です。各方面からの注目度も期待できるのと、それを目的に皆野町に人が集まってくれることを願っております。

ほかに、新しいイベントや、ワークショップの開催など、たくさんやりたいことが頭の中を駆け巡っております。これからの活動も見守っていただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



35台のヒストリックカーが集まりました



イベントではみ〜なも大人気



雑誌やWeb媒体の取材を受けました



今後はピクニックイベントも計画中です